



衣川台の住民の皆様、自主防災部の活動にご協力くださり、ありがとうございます。

令和6年元旦に発生した能登大地震は現在も大小多くの地震が発生しており復旧がなかなかすすまない状況です。衣川台の近隣にも『琵琶湖西岸断層帯』が走っており、文部科学省研究開発局地震火山防災研究課に設置されている地震調査研究推進本部事務局がまとめた、全国地震動予測地図2020年版によると、震度6以上の地震が発生する可能性が6%以上ある地域であり、能登大地震や熊本震災など他人事ではない状況です。ちなみに阪神淡路大震災の当時同様の地震発生確率は0.01%とされていたとの事ですので、6%は決して低い確率ではありません。

本号の内容は以下の通りです。

- 第2回防災訓練の振り返り
- 先日実施させていただいた災害の意識調査のまとめ
- ペットの災害対策
- 滋賀県周辺の地震予測
- 自主防災部からのお願い

1 1月24日（日） 第2回防災訓練の振り返り

今回は『災害時の心構え』を住民の皆様と考えていただく機会が持てればとの思いで

災害についての意識調査を実施させていただき、

防災訓練として、『映画上映会と消火器取り扱い訓練』

を行いました。

映画上映会では、意識調査とリンクした内容で、『自分の身を守る事』『災害への備え』『大雨・土砂への初期動作』『災害時に共助が有効活用できるような地域への働きかけ』について、ご自身やご家族の意識を再確認していただくことができたかと思います。



映画上映会後の『消火器取扱い訓練』では、衣川台に設置されている定置消火器が初期消火で使えるように取り扱い方法を学ぶ時間を持ちました。昨年 5 月に、南公園で桜の木が燃えた際も近隣の方が定置消火器を使用して消火してくださいました。必要な時は、躊躇なく定置消火器の活用をお願い致します。



消火器って、結構重いんです

11 月 24 日の第二回防災訓練は 1 組～7 組の前半の部と、8 組～15 組の後半の部に分けて実施いたしました。前半 46 名、後半 35 名の計 81 名の方に参加していただきました。前半の部は全員の方に実際に消火器の操作をしていただくことができましたが、後半の部は残念ながら小雨で全員には消火器を操作

していただくことができませんでした。

住民の方と災害時の心構えや消火器の操作を学ぶ機会を持ち、有意義な時間となりました。ご協力いただき、ありがとうございました。



上手ですね～



お子様連れのご参加
ありがとうございます



小雨の中、お疲れ様でした

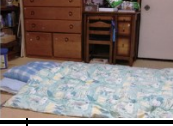
災害の意識調査 衣川台自主防災部 まとめ

衣川台にお住まいの皆様、災害の意識調査にご協力くださり、ありがとうございました。計118名の方から回答をいただきました。集約しました意識調査のまとめを行いました。
また同様の意識調査を定期的に行なうことも考えています。ご家族様で被災時の備えについて話し合う機会がより増えますようにと願います。

質問1. 衣川台自主防災部に関連した以下の項目のうち、【知らない事】があれば全て○をつけてください。
① 衣川台には自主防災部の組織がある。
② 毎年2回、衣川台で防災訓練が行われている。
③ 新安否確認システムによる安否確認をしている（黄色い安全確認旗・新安否確認シート）
④ 衣川台には各所に定置消火器が設置されており、必要時に使用できるようになっている。（5 %）
⑤ 自主防災部は自治会と連携して5月に安全確認パトロールを行い住宅の危険個所を行政に報告している。（17 %）
⑥ 自主防災部は住民の災害意識を高める事を目的とした「なまず通信」を定期的に発行している。
⑦ 大型地震震災後に仰木の里学区自主防災会が避難所を開設するが、衣川台から避難所への誘導を行っている。（8 %）

衣川台に設置されています消火器は『住民であれば、どなたでも利用できます』
地震災害で自宅が住めない状態になった場合、一時避難場所として南公園へお越しください。
一時避難場所の南公園から仰木の里自主防災会の設営する避難所へは、自主防災部が誘導し、集団で避難します。

質問2. 以下は災害への備えに対する項目です。○△×のうち近いものを○で囲んでください

質問事項 ① 地震から身を守る為の備え	○	△	×
自宅や勤務地または学校周辺における地震の危険性をハザードマップで確かめていますか？ 	55%	29%	16%
確かめている場合どのような方法ですか？ 右欄の項目より○で囲んでください	●紙のハザードマップ 69 ●スマートフォンの災害アプリ 21 ●パソコンから（災害ポータルサイトなど） 19		
自宅の耐震性は確保されていますか？ 	46%	47%	7%
自宅をよく過ごす場所（寝室・台所・居間）の家具は転倒防止されていますか？ 	36%	40%	24%
重い家具や本棚が倒れてこない所、照明やガラスが割れて落ちてこない所に自分や家族は寝ていますか？ 	56%	36%	8%
揺れた瞬間や緊急地震速報が流れた際、頭を中心に身を守る行動を取るという事を知っていますか？ 	83%	13%	4%
海の近くに出かけて大きな揺れがあった場合、誰も避難していなくても率先して高台に避難できますか？ 	51%	42%	7%

質問事項 ② 地震直後の対応		○	△	×
災害時でも使えるように、携帯電話やスマートフォンの携帯バッテリーを常に持ち歩いていますか？		17%	28%	55%
電気・ガス・水道が使えなくても、家族は1週間くらい食べられるような準備をしていますか？		20%	57%	23%
停電しても、1週間くらい灯りと暖房を維持できるように準備していますか？		16%	43%	41%
家族が別々の場所で地震にあった場合の連絡方法や集合場所など、地震対策について家族で話し合っていますか？		17%	41%	43%
質問事項 ③ 風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断		○	△	×
自宅や勤務地または学校周辺における風水害や土砂災害の危険個所をハザードマップで確かめていますか？		48%	31%	21%
自宅や勤務地または学校周辺における風水害や土砂災害の危険個所を自分の目で確かめていますか？		21%	40%	39%
水平避難・垂直避難・待避を理解した上で風水害や土砂災害が発生しそうな時の一時的な避難場所と避難方法を決めていますか？		24%	38%	38%
行政の避難情報にかかわらず、自分や家族で避難を判断する為に降雨状況や河川水位などの情報を自ら見ていますか？		33%	35%	32%
道路が浸水や豪雨などで一時的な避難所へ移動する方が危険な場合、自宅などで過ごす準備が出来ますか？		41%	48%	11%
風水害や土砂災害の対策について、家族で話し合っていますか？		24%	46%	30%
質問事項 ④ 災害から命を守る近所つきあい		○	△	×
自治会や子ども会、地域の清掃や運動会など普段から地域活動に参加していますか？		35%	48%	17%
災害時対応や事前の備えについて、地域や近所の人と話し合っていますか？		4%	42%	54%
近所で災害時に助けが必要な人を知っていますか？		41%	30%	29%
地域の防災訓練に、いつも参加していますか？		36%	48%	16%

ペットの災害対策

国や県は「**ペットは同行避難**」が原則としています。避難するときは、ペットも一緒に連れていくということです。**ただし避難所に着いてからの居場所は、その避難所ごとの方針やルールによることになります。**同じ場所に**同伴避難**(ペットと同じ場所で過ごすこと)ができるかどうかはわからないということです。避難所はそれぞれの避難所ごとの自治組織を作って運営することになりますから、ペットを別の部屋で一括避難させるのか屋根のある屋外に係留することになるのかそれぞれの避難所ごとに異なった対応になる可能性があります。もちろん被災の状況にも依ります。仰木の里東小学校の避難所でもペット用の場所が考えられているということですがペットはケージに入れたり、つないでおく必要があります。過去の被災地でもペットのことを考えて自宅避難や車中泊を選択された方もおられると聞きます。どこに避難するかは別にしても、驚いたペットが飛び出して迷子になったりすることを防止するための準備をしておく必要があります。



平常時に飼い主が行うべき対策としては以下のようなことが考えられます。

1. 住まいや飼養場所の防災対策(犬猫は上から落ちてくるものへの対応が苦手！魚類の水槽の破損対策など)
2. ペットのしつけと健康管理(ケージの中で過ごすことができる。「おいで」「待て」がわかる。ワクチン、予防接種など)
3. ペットが行方不明にならないための対策(迷子札、マイクロチップ)
4. ペット用の避難用品や備蓄品の確保(餌や水、医薬品は人と同じですが、首輪より抜けにくいハーネス、ケージなども必要です)
5. 情報収集と避難訓練(避難場所、避難所までの移動など)
6. 家族や地域住民との連携

6.については、飼い主の留守中に災害が起こった時にペットの安否確認をしてもらえるように近所の動物好きの方と連絡先の交換をしておくことや、一時預け先を検討しておく必要があるかもしれません。自助としての準備だけでなく共助の準備も必要になります。

犬猫以外の小動物、鳥類、魚類、両生類、爬虫類などを飼っておられる方もおられることでしょう。これらについてもペットショップと相談するなどしてそれぞれ独自の対策を立てておく必要があります。**滋賀県動物保護管理協会、県や環境省のホームページにはペットの災害対策の資料や動画も掲載されています。**



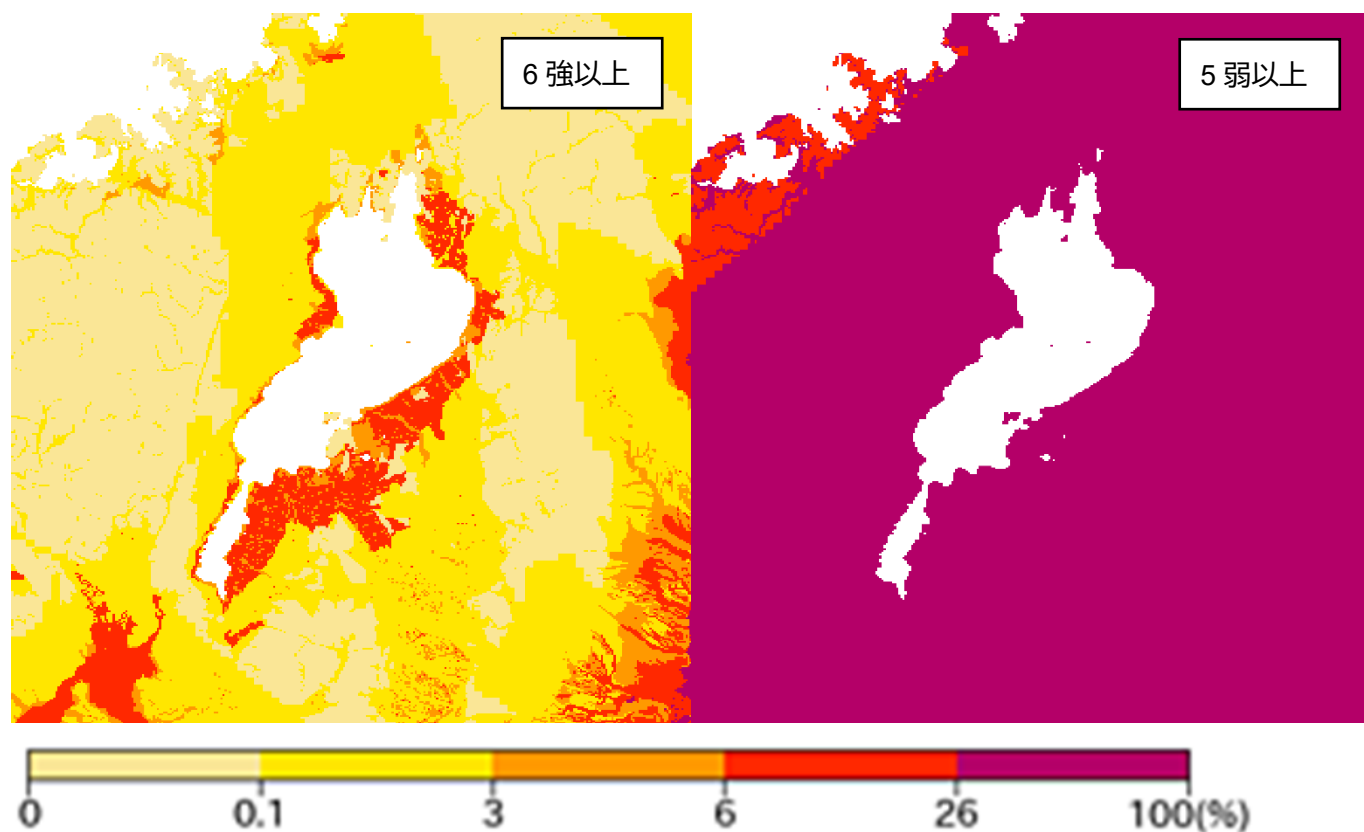
ペットの災害対策関係の本（大津北図書館蔵）

滋賀県周辺の地震予測

衣川台は『南海トラフ地震』と『琵琶湖西岸断層地震』の被害を受ける可能性があり、災害に対して、他の地域よりも地震に対する備えを怠ってはならない地域です。

下図は、防災科学技術研究所が運用しています地震ハザードステーションJ-SHIS(※)のマップから、琵琶湖周辺部について作成したものです。左は今後(2024 年～)30 年間に震度 6 強以上の揺れに見舞われる確率の分布図です。同様に右は、5 弱以上についての分布図です。

(※) <https://www.j-shis.bosai.go.jp/>



自主防災部の地震発生時の活動、例えば安否確認などは震度 5 弱をもって開始いたしますが、右図から相当な確率で(訓練でなく)実際に実施することになる可能性が高いと考えられます。

能登半島地震が令和 6 年元旦に発生してから 12 月になっても復旧がなされていないのを見てわかるように、一旦大地震が発生すると一時的なものではなく長期にわたり生活に支障が出る状況が起こりうる為、地震に対する知識を持っている必要があります。

平成 30 年に大津市で制作された『大津市防災ハンドブック』(令和 4 年改訂)から、我が町の被災に関する情報を振り返ってみましょう。なお、大津市防災ハンドブックは右の QR コードあるいは下記の URL からダウンロードができます。

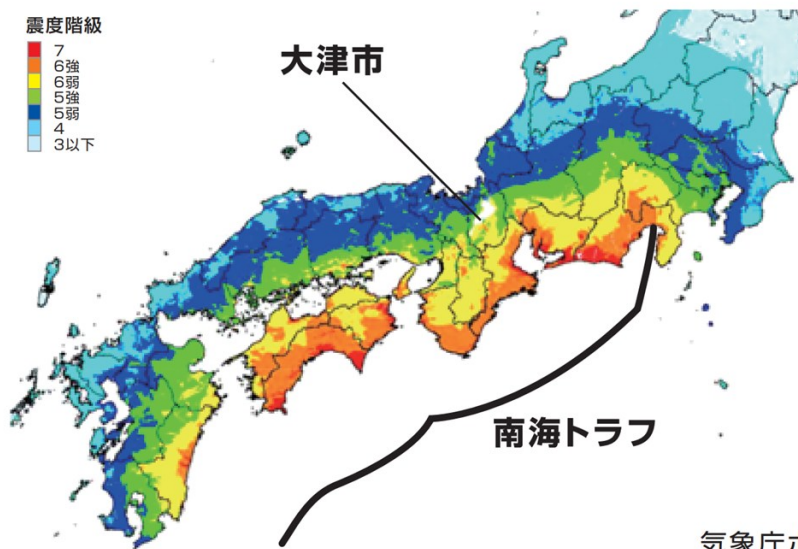


<https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/113/handobultukuR4.pdf>

南海トラフ地震

想定震度分布（複数の想定されるケースの最大値の分布）

震度階級
7
6強
6弱
5強
5弱
4
3以下

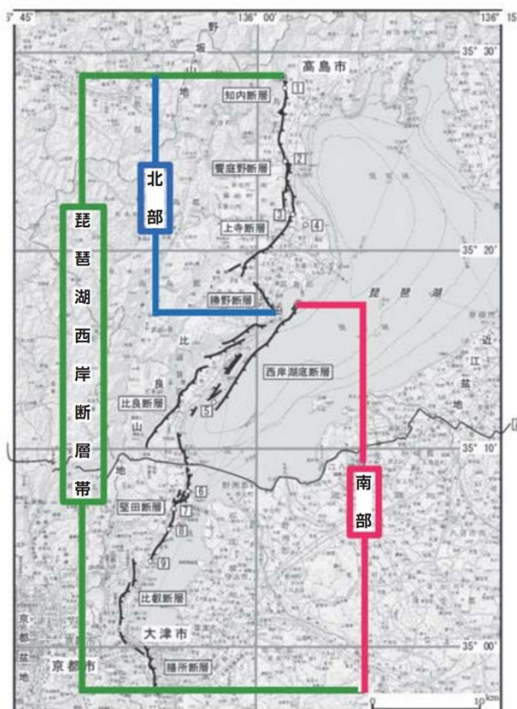


気象庁ホームページより抜粋

南海トラフ地震は、南海トラフ及びその周辺の地域における地殻の境界を震源とする大規模な地震で、これまで約100～150年ごとに地震が発生しています。昭和21年（1946年）に発生した昭和南海地震は比較的規模が小さかったことからエネルギーがまだ残っていると考えられ、次の南海トラフ地震は100年を待たず今世紀前半にも発生する恐れがあり、その確率は70%～80%とも言われています。

大津市でも最大震度6強の揺れが発生する可能性があります。

琵琶湖西岸断層帯地震



評価概要

【平均活動間隔】

北部 約1000～2800年
南部 約4500～6000年

【最新活動時期】

北部 約2800年前以後、
約2400年以前
南部 1185年地震

【地震の規模（M）】

全体 7.8程度
北部 7.1程度
南部 7.5程度

【地震発生確率】

（今後30年）
北部：1 - 3%
南部：ほぼ0%

⇒ 安心してはダメ！

高島市（旧マキノ町）から大津市国分（晴嵐学区）までの断層帯で、長さは約59kmあります。

過去の地震活動を踏まえて、平成21年、政府の地震調査委員会の報告で今後30年の地震発生確率が発表されました。北部（高島市）では、1～3%（国内でも高いグループ）、南部（高島市南方～大津市国分付近）では、ほぼ0%でありました。過去の地震活動と同様、琵琶湖西岸断層帯は北部と南部に分かれて活動すると推測されていますが、琵琶湖西岸断層帯全体で発生する可能性も報告されており、決して安心はできません。

なお、琵琶湖西岸断層帯による地震で大津市では最大震度7、マグニチュード7.8が想定されています。

巨大地震は必ず起きると考えられます。

昨年は、能登半島地震から始まり、8月の日向灘を震源とする地震では気象庁から南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発令されました。私たちは、巨大地震が起きた直後は地震に対する意識が高まります。一方、地震の被害を受けられた当事者以外は、そういう意識が少しずつ薄れていってしまいます。そのような中で、防災訓練等を通して、有事に対する意識を少しでも高めていただけたらと考えております。



自主防災部 活動員・協力員 募集中

自主防災部の活動例

震度 5 弱以上の地震が発生!

- 南自治会館に集合!
- 対策本郡の立上げ!
- 住民への呼びかけ!
- 各組のスムーズな安否確認推進!
- 災害状況の確認!
- 救出救護!
- 避難所への避難誘導!
-

課題

部員不足!

- とにかく**有事の際**は人数がほしい!
(広報チーム、組長支援チーム)

部員の高齢化!

- 体力不足!
- いざというときに心配です!

活動の活性化!新しい発想!

- 新鮮な息吹を求めています!

一緒に活動していただける方を募集中!

通常の時間拘束は以下の 2 点のみです。現役世代の方にもご協力いただけると大変ありがたいです。

- ✓ 年 2 回の防災訓練への参加(+同時開催の班会議への参加)
- ✓ 年 1 回の活動員・協力員会議への参加

可能な方は、お近くの自主防災部員に連絡お願い致します。
自主防災部からお願いに伺うかもしれませんが、その際は
ご一考お願い致します。

事務局

- | | |
|------|--------|
| 2 組 | 堀内 敦司 |
| 9 組 | 前田 満 |
| 14 組 | 木下 昭一郎 |
| 15 組 | 井内 裕 |